

平成29年度は、これまで毎年実施してきた「秋まつり」に代わって、各園ごと下記の事業を実施しました。

<さわおとの森 イルミネーション>

12月25日から1月5日にかけて、「さわおとの未来(みらい)」と題して、敷地内にイルミネーションを実施しました。この電飾は、主にご利用者様のご家庭で不要となったものをいただき、リサイクルとして使用させていただきました。点灯式は放課後等デイサービスの利用者様も一緒に参加して行いました。初の試みでしたが、たくさんの方のご協力を頂いて形にすることができ、さわおとの森が多くの人に支えられているということに改めて感じられるものでした。



この取り組みを今後も続けていき、来年度また新たな「未来」を皆さんにお見せしたいと思います。

<ひまわり園 ほしまつり>

ひまわり園は塩竈市で運営している藤倉保育所と併設しており、毎年7月7日に一緒に「ほしまつり」を行っています。「くじ引き」「輪投げ」などを行い、学童のお友だちにも手伝ってもらい出店の開店です!! 保育所のお友だちも買ってくるので自然と交流する事もでき職員も楽しませてもらっています!!



<利府子ども発達センターどんぐり 夏まつり>

9月にお父さん参観を行いました。新しくなった施設の紹介もかねて、学童の「あのね」の部屋やホールを利用して、お父さま方に夏まつり風出店をしていただきました。子ども達はチケットを持って、買い物気分ママと一緒にパパのお店を回りました。皆様にご協力いただき、子ども達は楽しそうで、活気あふれる一日となりました。どうもありがとうございました。



<利府子ども発達センターあのね 家族参観週間>

12月18日~22日ご家族に普段の活動の様子を見てもらうようクリスマス会に合わせて家族参観週間を実施しました。総勢21名のご家族が来園、職員による劇、子ども達のダンスやハンドベルの演奏を行いました。また、劇にはご家族にも参加して頂き、賑やかなクリスマス会となりました。



園長との茶話会でご家族との懇親を深め、写真の展示にてお子様の他の活動の様子を見て頂きました。

【編集後記】

今年の冬は、今までの暖冬が嘘のように寒々とした日々が続き、インフルエンザも猛威を振っておりますが、みなさまはお元気で過ごしてでしょうか。

法人さわおとの森は早いもので、設立13年目となりました。そこで今年度は、職員が働きやすく、そして現在の法律に基づいた内容となるよう就業規則等を全面改正いたしました。利用する方のサービス向上には、良いスタッフが欠かせません。スタッフが長く働いて成長できるような職場環境の向上に努めていきたいと思っております。

みなさまが、今年もご多幸でありますことをご祈念いたします。



<あかいしの森 秋まつり>

あかいしの森では、10月22日メインゲストに「アートワークショップすんぷちよ」さんをお迎えし「秋まつり」を実施しました。未就学の出し物、むーとんぴーす合同出演のダンス、ステージ観賞の後はワークショップで自作した楽器を手に全員で生演奏とのセッションと、音楽とダンスを介した交流で楽しい時間を過ごしました。地域の福祉施設によるパンや物品の販売もあり、初めての試みのイベントでしたが、充実した内容で開催することができました。



【新規職員紹介】



阿部 浩子

平成29年7月1日に、利府子ども発達センター内で事務員として従事しています。気持ち良く利用して頂けるよう、事務員として頑張ります。



高橋 泰郎

平成30年年1月から、生活介護わのみの生活支援員として従事しています。豊富な知識とガッツで、利用者さんやご家族の方と早く打ち解けられるように頑張ります。

広報 さわおとのもり

平成30年を迎えて

理事長 清野 精維

平成30年「戊戌」(つちのえいぬ)の新年も開けて早1ヶ月、「立春」の声を聞き...寒さは相変わらず厳しいところがあるものの、今年が一番寒い時期、酷寒の期間は超えてしまっているんだなあ...と感じられる、穏やかな天気が続いている今日頃です。

さて、法人さわおとの森のここの一年、「丁酉」(ひのととり)の事業活動の状況をふりかえってみますと、4月にオープンした「利府子ども発達センター」では、①児童発達支援「どんぐり」や、②放課後等デイサービス「あのね」、③保育所等訪問支援「のびっこ」、そして④ショートステイ「みんなの家」に、法人初の⑤グループホーム「ぼくらの家」等が夫々順調に開始実施されたことでした。

そして、7月に本格稼働した「地域拠点センター」の開所式が利府子ども発達センターと合同で同月6日に実施され、拠点センターでは、緊急駆けつけと緊急預かり、地域づくりも含めた専門的な基幹相談支援、塩釜地区5市町の自立支援協議会の事務局機能を行う①「地域拠点センターふきのとう」、利用計画の作成とモニタリングを行う②「こども相談支援つくしんぼ」、そしてこれも法人初で宮城県から委託を受けた⑤「障害児等療育支援事業あつれ」を行っており、幅広く、かつ新鮮な感覚で充実した事業活動を展開して来たところでした。

風光明媚で活動に適した良地が得られ、使いやすく堅牢瀟洒な二つのセンターが建設され、各事業の実施運営も先ず先ず順調に進められてきたところでしたが、5事業所にて23ものサービスを展開し、職員も80名を超える法人になり、さらに年々障害福祉予算も複雑化され、事業所に入ってくるお金も大きく分別・細分化されることが予想されます。

そこで、今まで本部会計のもと集約して策定していた予算案を、平成30年度からは、各園・各事業別に予算編成してゆくことに改め、適正化・健全化を図ってまいります。具体の積算方法等については、財務部で指針を示し、随時の相談に応ずるもので、また爾後の予算執行にあたっては、各園が随時注視していくことで適正の予算執行されていくようにいたします。

今後とも、ご利用者様が安全で心豊かに生活していく場をつくり、それを永続して確保していくことが、法人さわおとの森の使命と考えてございます。今年もご助言とご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

利府子ども発達センター・地域拠点センター 開所式!!

天赦日であった平成29年7月6日(木)の10時30分より「利府子ども発達センター・地域拠点センター開所式」を利府子ども発達センター遊戯室で執り行いました。ここでは、宮城県で初の地域生活支援拠点整備として塩竈・多賀城・松島・七ヶ浜・利府からの委託事業「ふきのとう」の開所式ということで、5市町長すべての参加をはじめ、宮城県障害福祉課長、5市町福祉関係部課長、塩竈地区手をつなぐ育成会等連絡会々員など参加していただき、総勢60名のもと実施いたしました。参加していただいた皆様へ感謝を申し上げます。セレモニーのあとには未就学利用児・保護者のダンスや、職員によるハンドベル演奏で和ませていただきました。



今回の開所式で、関係機関や障がい関係団体から、拠点整備として開所した「ふきのとう」への期待が大大大感じられ、身を締めつけて事業に取り組んでまいります。同時に障がいのある方々が地域でより生活しやすい環境にするため、他機関や施設と連携を行う「面的整備」も推進していく必要があります。今後も5市町協議会(宮城東部自立支援協議会)で検討をしていきます。



地域拠点センター「ふきのとう」が事業開始

ふきのとう管理者 佐野 篤

「安心して地域で暮らし続けたい」、「緊急事態が起こった時いつでも相談・対応できる場所が欲しい」

塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・松島町・利府町で構成している宮城東部地域自立支援協議会(障害関係の協議会)に寄せられた、障害をお持ちの皆さまの声を元に、平成29年4月より「地域拠点センターふきのとう」(塩竈市・多賀城市・松島町・七ヶ浜町・利府町委託事業)が開所いたしました。ふきのとうには主に以下の3つの機能があります。

1. 地域生活支援コーディネーター機能

○対象者

塩竈市・多賀城市・松島町・七ヶ浜町・利府町にお住いの障害をお持ちの方で、主な介護者の不在(急病や葬祭等の急用)により、一時的に通常の在宅生活を送ることが困難となる方。

○支援内容

◆緊急相談・駆けつけ(いつでも相談を受け、自宅等に駆けつけます)

◆緊急預かり(隣接利府こども発達センターのショートステイ事業所「みんなの家」でお受けします)

※2市3町の委託により居室1室を確保し、24時間365日(登録者)対応いたします。

※原則登録が必要です。

○受付時間

◆登録者:24時間365日対応

◆未登録者:平日9:00~17:00(12月30日~1月3日、祝日除く)

2. 基幹相談支援センター機能

○5市町委託の相談支援事業所と連携し、専門・総合的な相談を行います。

○5市町行政、自立支援協議会と連携し、地域課題解決に向けた取り組みを行います。 【地域拠点センター全景】



3. 宮城東部地域自立支援協議会事務局機能

○5市町と共働し、宮城東部地域自立支援協議会事務局として企画と運営を担っています。

*** 実践から気づいたこと ***

平成30年1月末現在で、登録者は22名。登録から緊急の駆けつけに至る業務を経験する中で、以下のような気づきがありました。

① 体験ショートステイの重要性

知らない人が迎えに来て、知らないところに連れて行かれ、知らない人の中で眠ることは、誰であっても不安なことだと思います。緊急事態を迎えた時には不安になると決まっていますが、少しでも見通しを持って安心していただけるように、事前にショートステイを体験していただくことが大切です。

また、登録時の聞き取りに加えて、実際の生活状況を支援者が把握し、不適切な対応やアセスメント不足に起因する事故などを避ける上でもショートステイの体験の重要性を感じる場所です。

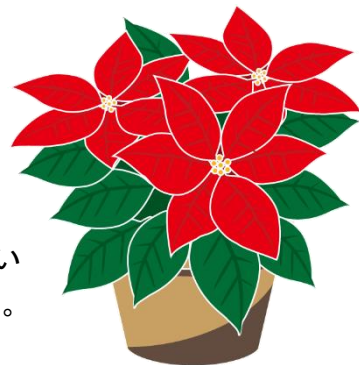
② 基幹相談支援機能の重要性

緊急の事態が起こった際は、待たなしのサービス調整が必要になりますが、特に生活の場の確保にあたってはスムーズに受け入れ先が決まるとは限りません。ふきのとうは基幹相談支援センターとして計画相談事業所との連携でバックアップし、あらゆる角度から支援構築を進めるお手伝いをしています。

③ 緊急事態をできるだけ作らないこと

緊急事態への不安はどなたでも感じている反面、具体的な対策は講じられていないことが多いように感じています。例えば普段からショートステイを利用していると、それだけでも短期間の緊急事態を乗り越えられることもあります。

障害支援区分の認定がされていないと、急には利用できないサービスも多く、何も心配のないときから緊急事態を作らない備えをしておくことは、最も有効で現実的な対策であると感じます。



障害児等療育支援事業「あとれ」も事業開始

専門相談員(臨床発達心理士) 今野 智恵美

平成29年4月より宮城県から「宮城県障害児等療育支援事業」の委託を受け、その7月には地域拠点センター内に事務所を設置して本格的な療育・発達相談事業を開始いたしました。この事業は、宮城県が平成18年から県内11社会福祉法人等に委託して実施しており、あとれは、塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・松島町・利府町の地域を担当しております。

あとれの業務内容

対象者 → 塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・松島町・利府町に居住している、障害をお持ちの方や発達に心配な児童等(療育手帳がなくても大丈夫です)

1 訪問による療育

家庭や、地域(保育所、幼稚園、学校等)を訪問したりして、療育・発達相談やアドバイスをを行います。

2 来所による療育

「あとれ」がある地域拠点センターに来所していただき、支援ニーズに応じた療育・発達相談、アドバイスをを行います。

3 関係施設職員への療育支援

発達の気になるお子さんが通う保育所や幼稚園・学校・障害児者の通所支援事業所等の職員と協働して、各種相談アドバイスをを行います。

事業を開始してから予想を超えるほどたくさんのご依頼の声が届きました。当初は「県や市町に相談機関があるので、需要はあるのかと内心心配していましたが、法人として5市町の相談事業に携わっているという経緯もあり、「実は、相談したくても声を出せないでいる保護者や支援者の方々がいる」という話を聞いていた通り、夏を過ぎたあたりからたくさん声が届き始めました。「あとれ」は専門職6名(臨床発達心理士、作業療法士、言語聴覚士、保育士)で構成されています。発達の見立てや子育てへのアドバイスを相談内容に応じたメンバーで協議し、それぞれのノウハウを活かして相談を受けることができます。

簡単には解決できない難しい内容の相談が舞い込み、頭を悩ませながら話し合いを重ねて対応することもあります。面談の終わりに笑顔になって帰られる姿から新たなエネルギーを頂き、頑張ることができています。発達や子育ての悩みを解決するための特効薬はなく、漢方薬のごとく、じっくりじっくり時間をかけて関わります。小さな変化を見逃さぬように繊細なまなざしで見取り、時には大胆に関わることが求められます。その息の長い取り組みで、当事者が息切れしないようにサポートをさせていただくのも「あとれ」の大事な仕事です。これからも、どんな支援が求められているのか日々研鑽を積みながら事業に当たらせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。



塩竈市ひまわり園 3回目の指定管理が決定

平成20年10月から塩竈市の指定管理者として運営している「塩竈市ひまわり園」は、平成30年3月末をもって指定管理者の期限が満了となるため、新たな指定管理者の選定にあたり、平成29年11月22日に塩竈市による公開プレゼンテーションが実施されました。

応募は当法人のみで、塩竈市が設置する選定委員会の審議を経た後に、12月市議会にて当法人が3回目の指定管理者として指定されました。

今後、塩竈市と契約を結び、4月から新たに3年間の指定管理者としてスタートすることとなりました。

*** グループホーム「ぼくらの家」での様子 ***

利府こども発達センターにある「ぼくらの家」が開設され1年がたとうとしております。ここでは、6人の男性利用者さんが一緒に生活しております。平日の日中は、それぞれの活動場所(生活介護事業所等)に行き、夕方に帰ってきて、入浴、ご飯は一つのテーブルを囲み仲良く食べております。夕食後は、居室でテレビを観たり、音楽を聴いたり、ゆっくり過ごす人や、リビングで職員と会話を楽しむ人もいます。

土日は、自分たちの身の回りのことを主に行っております。天気の良い日には、近くの公園に散歩に行ったり、時にはドライブを行ったりするときもあります。

